

# 総合型入学試験



地域を愛する人材育成を支援します！

D-サポート事業（高等学校とすすめる地域人材育成支援事業）

〒078-8803 旭川市緑が丘東3条1丁目1-6

TEL 0166(65)3484

URL <https://hokuisen.jp/> mail [info@hokuisen.jp](mailto:info@hokuisen.jp)



HOKUISEN\_KENSA



学校法人緑蔭会  
北海道医学技術専門学校

## 事業趣旨

できることなら地元で地域住民の役に立つ仕事をすることができたらと思っている若者の夢を叶えるため、自治体の皆様と協同し、地域医療を担う人材の育成を目指す事業を令和6年度に立ち上げました(略称 D-サポート事業)。

本事業の趣旨を生かし、令和7年度に「高等学校とすすめる地域人材育成支援事業」を企画し、令和8年度からD-サポート事業にかかる学生募集として総合型入学試験を実施します。

※Dは、DreamのDを表現しました



## はじめに

- 地域コミュニティの衰退が懸念される中、各自治体の中・高等学校では地域理解を深めることを通じて郷土を愛する心情を育成するなど、地域課題をテーマとした教育が行われており、大学や専門学校へ進学した若者の中には、将来は地元に戻って就職し、地域に役立つ仕事をしたいと考えている者も一定程度いるのではないかと推察します。
- しかし、大都市を除けば雇用機会の減少に歯止めがかからない状況にあり、地元での就職の間口は窮屈な状態となっているケースは少なくありません。
- 一方、本校が養成している臨床検査技師の求人は、道内外を問わず多くありますが、学生が希望する就職先の多くは道内の札幌・旭川など都市部に偏った傾向<sup>注1</sup>が見られ、地方の病院が臨床検査技師の新規採用者を求めても、送り手側がそのニーズに応えられていない実情が浮かび上がっています。
- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目標に「病院完結型」から「地域完結型」の医療に重点を移していく必要性が指摘され、地域包括ケアシステムの実現が叫ばれる中、臨床検査技師の果たすべき役割はさらに増すと予想され、嬉々として地元で働く有能な人材を確保することが重要であると考えています。

## 地域人材育成支援事業(D-サポート事業)のベネフィット



### 生徒・保護者

高額な学費を要する医療系大学や専門学校への進学を断念する生徒や保護者に対し、学費・生活費等の負担軽減を図ることができます。また、少人数によるきめ細かな指導のもと、臨床検査技師を目指すことができます。

**経費負担等の  
軽減**



### 高等学校

本事業の趣旨にふさわしい、故郷を愛し、将来、地元や地域で臨床検査技師として働きたいと思っている目的意識の高い生徒に対する進路指導の充実が期待できます。

**進路指導の  
充実**



### 北医専

急速に少子化が進展し、入学者の減少傾向に歯止めがかからない中、学生確保の一助になると同時に、地域医療に貢献する臨床検査技師を半世紀にわたり輩出してきた本校に対する理解を深めてもらう機会となります。

**知名度の  
向上**

# 総合型入学試験（D-サポート事業）実施要項（令和8年4月改訂）

## 1 名称～

本事業は「高等学校とすすめる地域人材育成支援事業（略称：D-サポート事業）」という。

## 2 実施期間

令和7年度を第1期とし、毎年度事業展開する。令和12年度第6期までの実施を予定する。希望する高等学校においては、毎年度7月31日までに北海道医学技術専門学校（以下、「北医専」と称する）と連携を締結し、当該生徒がいる場合は3年間（当該生徒在籍期間は継続する。）、希望生徒がいない場合は1年間を単位として事業展開を行う。

## 3 目的

高等学校（上川管内を除く）と北医専が連携し、地域医療に寄与する人材を育成する。又、高等学校においては、本目的を踏まえ、進路指導の充実を図る観点から、本事業を通じて北医専と協同し本事業の目的にふさわしい生徒を推薦し、地域貢献の一助とする。

## 4 事業の内容

（1）本事業は本校へ入学を希望する生徒がいる場合、高等学校（連携校）と北医専との間で協定を締結し相互の理解・協力の下で実施するものである。

（2）経済的支援等の基本的な考え方については次のとおりとする。

①北医専は当該学生に対し、3年間の授業料のうち、1年次及び2年次の2年間について、1/2の補助を行う。

②当該高等学校は、D-サポート事業について保護者・生徒等に周知することを通じて、本校入学希望者や在校生の参考材料となるよう努める。

## 5 事業の実施方法

（1）D-サポート事業の連携を希望する高等学校は、「連携申込書」を北医専へ送付する。

（2）当該高等学校は、本事業にふさわしいと考える生徒や生徒及び保護者の希望などを踏まえ、推薦書を北医専に送付する。北医専は推薦書に基づき面接を実施し、合格通知を当該高等学校及び本人に送付する。

なお、連携校からの推薦は1校1名とする。

（3）北医専は当該学生に係る経済的支援（1・2学年の授業料を1/2とする）や社会人としての資質向上が図られるよう指導助言を行うとともに、臨床検査技師の国家資格が取得できるよう単位履修や人間性豊かな医療人の育成に最善を尽くす。

（4）当該高等学校、北医専、保護者が情報交流を行い当該生徒の健全育成や事業の進捗状況などについて共通理解を図る。

（5）本人の事情により途中で本事業を取りやめる場合には、残余年についての支援等は行わない。なお、3年間の所定単位を履修し、卒業時の国家試験に合格できなかった場合は、次年度の受験に向け北医専が学習面の支援を継続する。

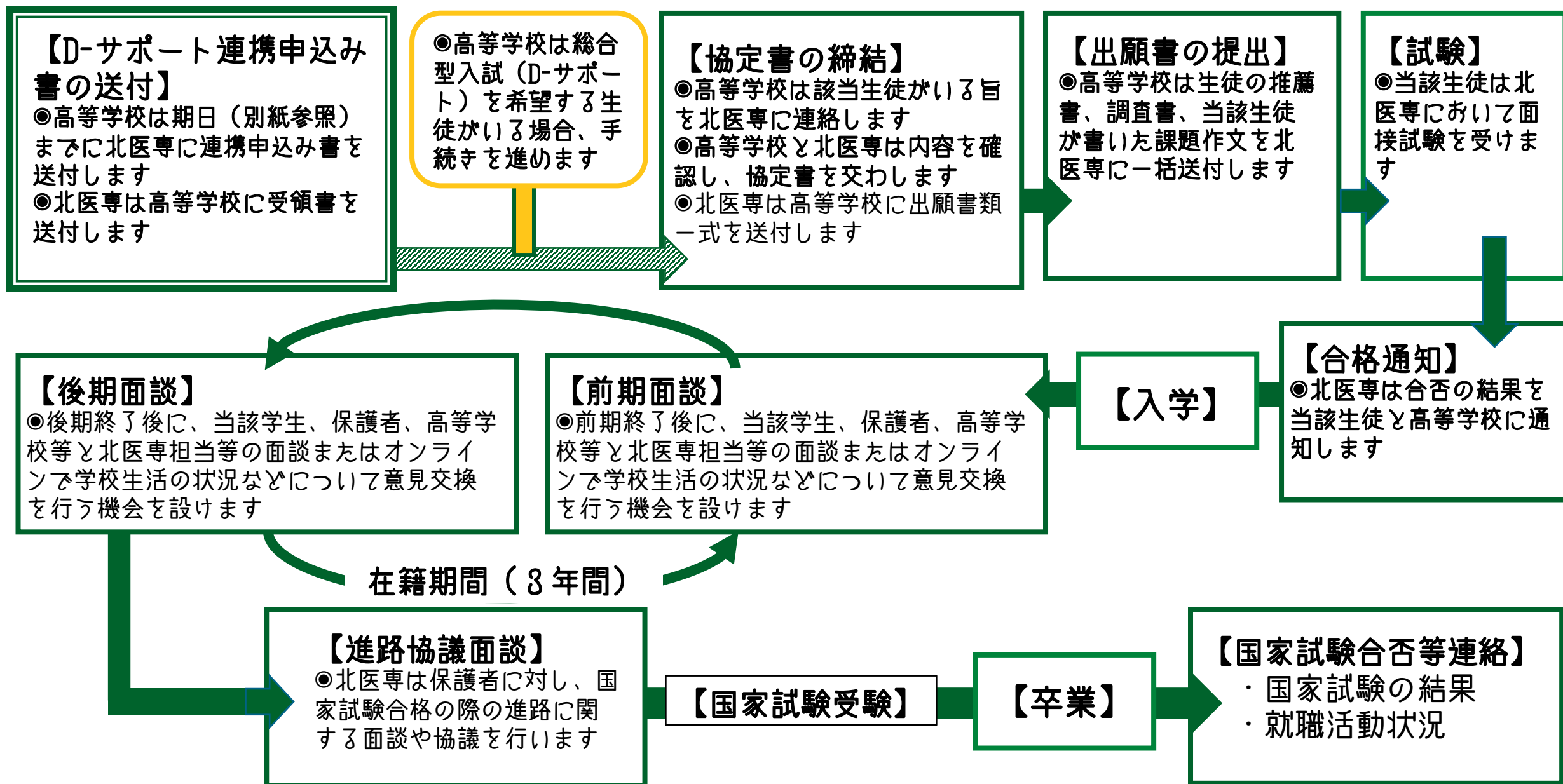
## 6 その他

（1）推薦書等の提出期限、面接日時等は、別紙日程を参照のこと。

（2）本事業の全体の流れ（概要）は、図1を参照のこと。

# 総合型入試（D-サポート事業）の流れ

図 1

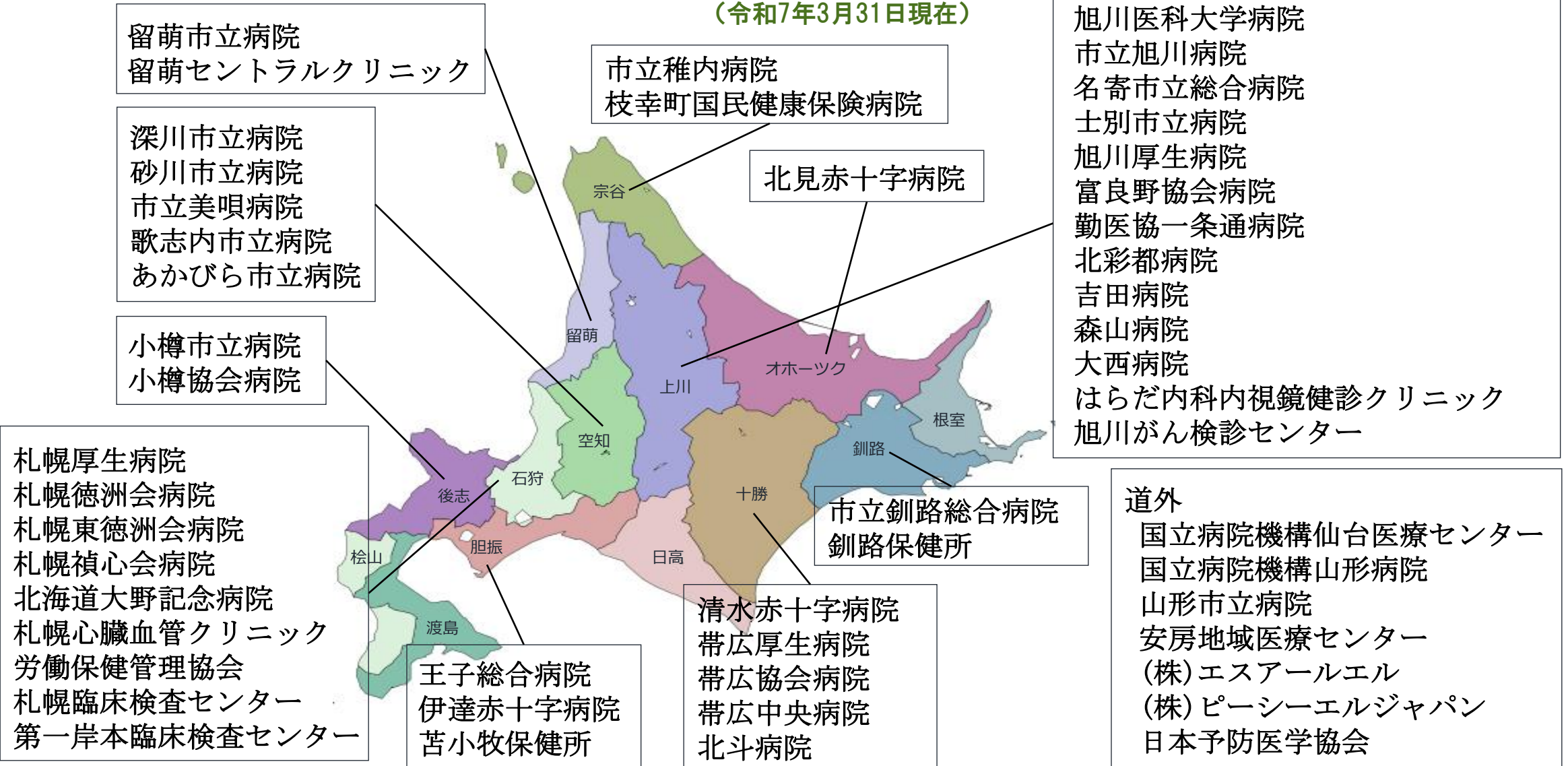


# 総合型入学試験(D-サポート事業)の連携及び出願等にかかる日程(令和8年度)

| 月 日                       | 曜 日            | 内 容                                                                                                                  |
|---------------------------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 月 1 日                   | (水)            | ・ 連携校募集開始                                                                                                            |
| ↓                         |                |                                                                                                                      |
| 7 月 3 1 日                 | (金)            | ・ D-サポート連携申込み締切日<br>高等学校から申込み書の提出を受け、北医専から受領書及び出願書類を送付<br>※D-サポート事業を利用した総合型入学を希望する生徒がいる場合は、6月1日(月)から8月17日(月)までに協定を締結 |
| ↓                         |                |                                                                                                                      |
| 9 月 1 日<br>)<br>9 月 1 1 日 | (火)<br><br>(金) | ・ 出願書類等受付期間<br>協定締結後、出願書類(願書・推薦書・調査書・課題作文)を高等学校経由で北医専に提出                                                             |
| ↓                         |                |                                                                                                                      |
| 9 月 2 9 日                 | (火)            | ・ 面接の実施<br>北医専において当該生徒との面接を実施                                                                                        |
| ↓                         |                |                                                                                                                      |
| 1 0 月 1 日                 | (木)            | ・ 合否通知<br>合否を当該生徒と高等学校へ通知                                                                                            |

# 令和4・5・6・7年3月 卒業生の就職先

(令和7年3月31日現在)



# 北海道医学技術専門学校の所在地

恵まれた立地環境と緑豊かな教育環境

## 充実した教育スタッフ

本校は文教地区に所在し、豊富な臨床経験を持つ専任教員に加え、隣接する旭川医科大学の教授や教員、さらに臨床現場で活躍している医療従事者が講義・実習を担当しています。

## 主要交通アクセス

バス 市内：旭川駅周辺 ⇄ 緑が丘3条4丁目（約25分）  
旭川空港 ⇄ 旭川医大病院前（約15分）  
都市間：札幌 ⇄ 旭川（約2時間40分）  
帯広 ⇄ 旭川（約4時間40分）  
J R 札幌 ⇄ 旭川（約1時間30分）  
北見 ⇄ 旭川（約3時間）



# 総合型入試（D-サポート事業）に関するQ&A

- Q1 連携・協定の締結に費用はかかりますか。
- A1 一切かかりません。
- Q2 複数年まとめて連携校になることは可能ですか。
- A2 連携は単年度です。したがって年度ごとに手続きを行うことになります。
- Q3 上川管内在住ですが、管外の高校に通学している場合は対象になりますか。
- A3 対象となります。D-サポート事業は上川管内を除く高校と連携・協定を結びます。
- Q4 協定書締結期限が過ぎてから希望者が出た場合、出願は可能ですか。
- A4 高等学校を通じて本校までお問い合わせください。
- Q5 これまで体験入学に参加したことがありませんが、総合型入試に出願できますか。
- A5 出願できます。合格後でも体験入学への参加を勧めています。
- Q6 留年した場合、補助はどうなりますか。
- A6 補助を行うのは1年次の1年間および2年次の1年間、計2年間です。留年した場合、当該学年の2年目は補助を行いません。
- Q7 中途退学した場合、補助を受けた額を返金しなければなりませんか。
- A7 返金する必要はありません。
- Q8 就職先の地域に制限はありますか。
- A8 D-サポート事業は、原則として地元の地域医療を担う人材の育成を趣旨としていますが、就職先の地域を制限するものではありません。

※ その他不明な点がありましたら事務局へお問い合わせください。